

世代をつないでこそ子育て

2022年3月12日(土) 14:00~16:00

参加対象：ご興味のある方はどなたでも参加頂けます。

開催方法：オンライン 定員：250名 参加費：無料

申込方法：あい・ぽーとステーション HP または 右記 QR コード よりオンラインでお申込み下さい。

申込メ切：開催の5日前まで



～プログラム～

◆ 開会挨拶

◆ 「あい・ぽーと」での取り組みの軌跡

◆ 基調講演&基調コメント

〔基調講演①〕 神野 直彦

〔基調講演②〕 権丈 善一

〔基調コメント〕 羽生 祥子

◆ トークセッション

話 題 提 供：神野 直彦、権丈 善一、羽生 祥子

コーディネーター： 大日向 雅美

子育ては何を大切に、何をを目指すべきか？子育ての原点とは…？

親の教育熱、子育てへの関心も高まりが、

- 育児不安・育児ストレスを強めている…？
- 子どもの成長発達に影響…？

世代間交流を活性化し世代をつなぎ、

未来を生きる子どもたちを支えていくことを

様々な「地域」「世代」をつなぎ共有しませんか？

《登壇者プロフィール》

神野 直彦



(東京大学名誉教授)

大阪市立大学経済学部助教授、東京大学大学院経済学研究科・経済学教授、関西学院大学人間福祉学部教授、地方財政審議会会長、日本社会事業大学学長などを経て、東京大学名誉教授、税制調査会会長代理、2009年紫綬褒章受賞。著書に『経済学は悲しみを分かち合うために-私の原点-』2018年 岩波書店等多数。

権丈 善一



(慶応義塾大学商学部教授)

慶応義塾大学商学部卒業、同大学大学院商学研究科博士課程修了。博士(商学)。2002年より現職。社会保障審議会、社会保障国民会議、社会保障制度改革国民会議、社会保障の教育推進に関する検討会の座長などを歴任。著書に『再分配政策の政治経済学Ⅰ〜Ⅶ』『ちょっと気になる政策思想』『ちょっと気になる』シリーズなど多数。

羽生 祥子



(日経 BP 編集委員)

京都大学卒業後渡仏、帰国後に無職、フリーランスなど多様な働き方を経験。02年松岡正剛に師事し「千夜千冊」編集。12年『日経マネー』副編集長。13年働くママ＆パパ向け『日経DUAL』創刊編集長。18年『日経xwoman』創刊編集長。新著『多様性って何ですか？D&I、ジェンダー平等入門』。2児の母。

大日向 雅美



(NPO法人あい・ぽーとステーション代表理事/東京女子医科大学)

お茶の水女子大学・同大学院修士課程修了。東京都立大学大学院博士課程満期退学。学術博士。2016年より現職。BPO理事長。少子化対策・社会保障関連の審議会等の委員を務める共に、地域の子育て・家族支援のNPO活動にも取り組む。男女共同参画社会づくり功労者内閣総理大臣賞・NHK放送文化賞受賞。著書に『新装版 母性の研究』『増補 母性愛神話の異』など多数。

本プロジェクトの目的

子育てひろばに集う親子の様子を間近にし、今、改めて“子育ては何を大切に、何をめざすべきか？”という、子育ての原点に立ち返る必要性が痛感されます。少子化の中での子育てゆえに、親の教育熱も社会の子育てへの関心も高まる一方です。ニューノーマル時代を迎え、社会が変動のスピードを早めればこそ、人が人とし育っていく道筋を確かなものをする必要性があるのではないのでしょうか。

こうした中、シニア世代が自身の来た道を振りかえるとき、単に過去を美化するのではなく、そこに失敗も含めて後世に伝えたいメッセージがあることは、「まちプロ」や子育てひろばに集うシニア世代の支援者の日頃の活動姿勢から読み取れるところです。また、シニア世代も若い世代や子どもたちから学ぶものが少なくありません。今、日本社会に必要なことは、こうした世代間交流を活性化し、世代をつなぐことから、未来を生きる子どもたちの成長発達を支えていくことではないかと考えます。私たちは、年間通して「伝統をつなぐ」「アートでつなぐ」「こころをつなぐ」を具体的テーマに親子で参加できるプログラムを企画し、さらに、11月には、「今こそ伝えたい“子育ての真実”そして未来」と題した「オンライン子育てトーク」プログラムも実施しました。その総集編として、今回のシンポジウムを迎えます。

NPO 法人 あい・ぽーとステーション

代表理事 大日向雅美（恵泉女学園大学学長）

2004 年から東京都港区南青山で、元区立幼稚園の跡地を活用した、子育てひろば＜あい・ぽーと＞を拠点として、親子が楽しく集うひろば事業の他、全国に先駆けて“理由を問わない一時保育”を実施。同様の施設を 2016 年 10 月には千代田区にも開設。2005 年から「子育て・家族支援者」の養成に注力し、港区・千代田区をはじめとしたいくつもの自治体で既に 1900 人余りの支援者が誕生。子育て家庭に出向いての保育やひろばでのコンシェルジュ、ワンストップサービスの的に相談に応じる子育てコーディネーター、家庭的保育者等、各地域の実情に即した支援活動を展開。2015 年から厚生労働省認定資格「子育て支援員」のモデルとなる。また 2013 年からシニア世代男性の地域活動支援にも着手。いずれも基礎自治体との緊密な協働体制の下で、相互扶助の理念を地域に展開することを目指した子育て・家族支援活動を実施しています。

【HP】 <https://www.ai-port.jp/>

【受賞】 日本経済新聞社「につけい子育て支援大賞」（2007 年）

内閣総理大臣表彰「子どもと家族を応援する日本」功労者（2008 年）

お問い合わせ

NPO 法人あい・ぽーとステーション（オンラインシンポジウム事務局：子育てひろば「あい・ぽーと」麹町）

【TEL】 03-3556-8471 【FAX】 03-3556-8475 【E-mail】 koza@ai-port.jp